



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和7年2月5日
文責：校長 江上 知男

実験の様子



「水育」で学びました！

1月31日(金)に、4年生で「水についての学習」が行われました。町教育委員会とサントリー九州熊本工場が連携し、嘉島の子どもたちに「水育」と称する学習の機会が提供されたのです。当日のテーマは「水の循環や森の働き」で、講師は、サントリーから派遣された方(松本さん)が務めてくださいました。「バサバサした荒れた土」と「フカフカした森の土」を見比べたり触ったりして違いを確かめ、さらに精密な実験道具で両方の土の水の浄化の違いを見せてく

ださいました。子どもたちは、土の違いをとおして、自然の力のすごさや大切さを感じていました。

「阿蘇地方に降った雨が地下水となって、嘉島の工場でくみ上げられ、飲料として手元に届くまでには約20年程の歳月がかかる」とのこと。水道栓をひねれば「ミネラルウォーター」が無料でいつでも飲める私たちは、本当に恵まれた環境に住んでいることを、改めて感謝させられました。

この「水育」は、今後様々な学習展開が予想されます。学校としても、大きな期待を寄せています。次代を担う子どもたちが、嘉島の宝である「水」を大切に思う人に育って欲しいと願うばかりです。

「昔遊び」を体験しました！

2月4日(火)に、1年生がいわゆる「昔遊び」を体験しました。地域の方々約15名が学校に来て、子どもたちに手ほどきをしてくださいました。内容は、「おじゃめ」「竹とんぼ」「竹馬」「竹でっぼう」「竹ぽっくり」「カルタ遊び」等々でした。

子どもたちにも地域の方々にも、楽しそうな「笑顔の輪」が広がっていました。当日は、雪が舞うような寒い天候でしたが、交流の様子を見て、心がホッくり温かくなりました。寒い中に、わざわざ学校に足を運んでいただいた地域の皆さま。本当にありがとうございました。またお願いします。



竹馬できた！

スライドの一部

A、はっきりと「私は薬物はしない」と断ることが大切です。

●薬物を勧めてくるような仲間には、初めから近づかないこと

●普段から服装や態度を整え、相手につけこまれないようにすること



「薬物乱用防止教室」を開催！

2月4日(火)、6年生を対象として防止教室を開催しました。講師として、御船警察署生活安全課(椎葉さん)に来ていただきました。映像等を使って、「薬物の恐ろしさ」「誘われたときの断り方」等を具体的に話されました。子どもたちの感想を読ませてもらいましたが、「薬物が体・心・脳などに強く作用し、結果として人間らしい生活を奪ってしまうこと」は、ものすごく印象に残ったようです。

近年、市販やネットで手に入るかぜ薬等を大量に摂取する薬物乱用(オーバードーズ)が、小学生にも広がり始めていますと聞きました。薬物は、私たちの身近にあります。学校・家庭・地域が連携して、子どもたちが将来絶対に薬物に手を出さないよう、考え方や情報を共有していきましょう。